

礼文の森から

宗谷森林管理署
礼文森林事務所



森の作り方紹介①



今回から、林野庁が行っている森作りの方法を紹介します。
最初に紹介するのは「地拵え（じごしらえ）」です。



森作りの流れ

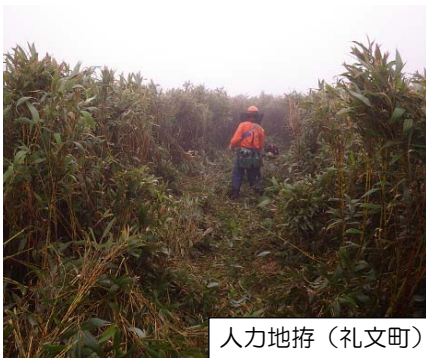
「①地拵え（じごしらえ）」→「②苗木の植付」→「③下刈り」（→④除伐・間伐）

地拵えとは？

ササ等を刈払い、苗木の植付に適した状態にすることです。

人力地拵：人が刈払機を使う方法

大型機械地拵：大型機械（グラブプル・ブルドーザー等）を使う方法
の2通りの方法があります。どちらも良い点・悪い点があるので、
地域の状況や目的を考えながら選択します。



人力地拵（礼文町）

人力地拵の良い点

- ◇表土を剥がさないなので、土壌に栄養が残りやすい
- ◇大型機械が入れない急傾斜でも実施可能
- ◇沢への土砂流入リスクが低い
- ◇1.5m程度の細かい刈幅でも対応可能

人力地拵の悪い点

- ◇経費が割高になる
- ◇地表に刈ったササ等の残骸が残りやすい。
※植付穴に残骸が入ると乾燥による枯死の原因になる。



大型機械地拵（枝幸町）

大型機械地拵の良い点

- ◇作業が早く、面積当たりの経費が安い
- ◇地表に残骸が残りやすく、植付しやすい
- ◇高気温時など悪条件下でも、作業への負担が小さい

大型機械地拵の悪い点

- ◇人力より、沢への土砂流入リスクが大きい。
- ◇表土を剥がしやすく、土壌の栄養が失われる恐れがある。

礼文島の森作りは、土壌に影響が少ない人力地拵を採用しています。森を歩くと、
地拵作業を見かけるかもしれませんが暖かく見守っていただくと幸いです。

